

特別会計 下水道

全市水洗化を目指し、積極的に事業を進めています。

【維持管理】

3億4952万2千円
公共下水道（管渠延長1199km）の維持管理など。

【管渠の建設】

35億5402万円
上小山田汚水枝線外15か所の

建設工事。

【町田下水処理場の管理】

10億5144万8千円

【鶴見川クリーンセンターの管理】

4億4057万円

【町田下水処理場の整備】

2億6000万円
濃縮設備、薬品タンク、沈砂池流出ゲート更新、水質測定機器設置などの工事委託。

忠生土地区画整理

根岸町、木曾町、常盤町及び矢部町の各一部、101.9ヘクタールの地区を整備するものです。

市施行で、昭和60年度から実施しています。

【事業】18億6376万5千円（市の予算の他に、東京都から5100万円交付されます。）

工事業務、換地業務、補償業務、文化財調査など。

鶴川駅北土地区画整理

能ヶ谷町及び大蔵町の各一部、5.9ヘクタールの地区を整備するものです。市施行で、平成4年度から実施しています。

【事業】12億5593万9千円（市の予算の他に、東京都から3

億7900万円交付されます。）
工事業務、換地業務、補償業務など。

病院

町田市の中核病院として二次医療を担っています。平成12年3月に新病棟が開設され、引き続き第2・3期増改築事業を進めています。

【病院の改築・機器の購入】

2億4649万1千円
第2・3期増改築工事実施設計委託、医療機器購入など。

バランスシート・行政コスト計算書

市では、このたび、行財政改革、財政情報の公開の一環として、平成13年度決算を対象にバランスシートと行政コスト計算書を作成しました。バランスシートは、資産や負債の状況を示すもので、ある一時点における財政状況を明らかにするもの、また、行政コスト計算書は、行政サービスを提供するのに要する費用とその財源を明らかにするものです。今回は、総務省から示されている統一基準により作成いたしました。

なお、バランスシート・行政コスト計算書に関する資料は、市政情報課（やまびこ）・各図書館でご覧いただけます。また、市のホームページ（<http://www.city.machida.tokyo.jp/>）にも掲載しています。

バランスシートからわかること

平成13年度の資産総額は4582億円です。資産総額のうち9割は土地、建物等の有形固定資産で占められており、これまで形成されてきた社会資本が資産の中心となっていることがわかります。投資及び出資金、基金等の投

資等は257億円、現金、預金等の流動資産は130億円です。これに対して負債は981億円と総資産の21.4%であり、内訳は地方債981億円、退職給与引当金264億円です。差引正味資産は3601億円と総資産の78.6%を占めています。

他都市と比べ、負債の割合は低く、正味資産の割合は高くなっており、安定的な数値を示しています。

行政コスト計算書からわかること

平成13年度の行政コスト合計額は958億円です。「人にかかるコスト」は9割が職員等の給料や手当等の人件費で221億円です。「物にかかるコスト」は有形固定資産減価償却費の87億と物件費の162億円が主なものとな

っています。「移転支的コスト」は扶助費の166億円、補助費等の112億円、特別会計等に対する繰出金の101億円、他の団体等に補助金として支出した普通建設事業費の42億円からなっています。

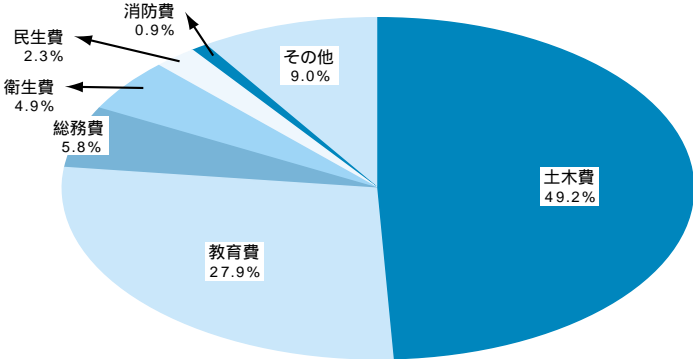
「人にかかるコスト」は減少傾向にありますが、それ以外のコストは増加傾向にあります。

バランスシート（平成14年3月31日現在）（単位：億円）

借方		貸方	
【資産の部】		【負債の部】	
1. 有形固定資産	4,196	1. 固定負債	929
うち土地	2,505	(1) 地方債	665
2. 投資等	257	(2) 債務負担行為	-
(1) 投資及び出資金	33	(3) 退職給与引当金	264
(2) 貸付金	1	2. 流動負債	53
(3) 基金	223	(1) 地方債翌年度償還予定額	53
特定目的基金	189	(2) 翌年度繰上充用額	-
土地開発基金	30	(3) その他	-
定額運用基金	4	負債合計	981
3. 流動資産	130	【正味資産の部】	
(1) 現金・預金	85	1. 国庫支出金	383
財政調整基金	64	2. 都支出金	299
減債基金	-	3. 一般財源等	2,919
歳計現金	21	正味資産合計	3,601
(2) 未収金	45		
資産合計	4,582	負債・正味資産合計	4,582

四捨五入による端数処理を行っているため、合計と合致しない場合があります。

有形固定資産の目的別状況



用語説明

- 【資産】 土地や建物、備品等の行政サービスを提供するために長期にわたって使用されるものを「有形固定資産」、現金や預金等を、「投資等」、「流動資産」に分類しています。
- 【負債】 一般的に借金にあたるものです。翌年度中に返済されるものを「流動負債」、それ以外を「固定負債」といいます。
- 【正味資産】 資産から負債を差し引いたものです。資産を形成するために使用した、市民の皆さんから納めていただいた税金等です。
- 【退職給与引当金】 在職している職員が年度末に全員退職すると仮定した場合に支払うべき退職手当の総額をいいます。

行政コスト計算書（平成13年度）

【行政コスト】（単位：億円）（構成比）		
1. 人にかかるコスト	245.4	25.6%
(1) 人件費	221.0	23.1%
(2) 退職給与引当金繰入等	24.3	2.5%
2. 物にかかるコスト	261.3	27.3%
(1) 物件費	162.2	16.9%
(2) 維持補修費	11.6	1.2%
(3) 有形固定資産減価償却費	87.5	9.1%
3. 移転支的コスト	420.1	43.9%
(1) 扶助費	165.7	17.3%
(2) 補助費等	112.3	11.7%
(3) 繰出金	100.5	10.5%
(4) 普通建設事業費（他団体等への補助金等）	41.6	4.3%
4. その他のコスト	30.8	3.2%
(1) 公債費（利子分のみ）	22.2	2.3%
(2) 債務負担行為繰入	-	-
(3) 不納欠損額	8.6	0.9%
行政コスト合計	957.6	100.0%

【収入項目】

1. 使用料・手数料等	29.4	-
2. 国庫（都）支出金	165.5	-
3. 一般財源	802.0	-
小計	996.9	-
4. 正味資産国庫（都）支出金償却額	20.4	-
収入項目合計	1,017.4	-

四捨五入による端数処理を行っているため、合計と合致しない場合があります。

用語説明

- 【人にかかるコスト】 議員や職員に支払われる人件費。
- 【物にかかるコスト】 委託料、備品購入費等の物件費、施設の維持補修費、有形固定資産の減価償却費。
- 【移転支的コスト】 法等に基づき支給する扶助費、市民や団体等への補助金、国保会計や下水道会計等への繰出金。
- 【その他のコスト】 借入金の支払利息、不納欠損額。
- 【減価償却費】 土地以外の有形固定資産の価値がその年に減少したと認められる額です。
- 【不納欠損額】 破産、倒産等により収納できなかった税金、使用料等です。